

運用報告書（全体版）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年9月30日から2021年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②高金利通貨で為替取引を行います。	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース

第101期（決算日	2020年3月10日）
第102期（決算日	2020年4月10日）
第103期（決算日	2020年5月11日）
第104期（決算日	2020年6月10日）
第105期（決算日	2020年7月10日）
第106期（決算日	2020年8月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース」は、このたび第106期の決算を行いましたので、第101期～第106期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	百万円	
77期(2018年3月12日)	4,498		70	△ 0.2	0.9	96.0	5,723	
78期(2018年4月10日)	4,280		50	△ 3.7	0.9	95.3	5,560	
79期(2018年5月10日)	4,074		50	△ 3.6	0.9	96.1	5,217	
80期(2018年6月11日)	3,826		50	△ 4.9	1.0	95.2	4,842	
81期(2018年7月10日)	3,685		50	△ 2.4	0.9	95.3	4,630	
82期(2018年8月10日)	3,598		50	△ 1.0	1.0	95.6	4,480	
83期(2018年9月10日)	3,151		50	△11.0	0.9	96.2	3,854	
84期(2018年10月10日)	3,370		50	8.5	0.7	96.0	4,088	
85期(2018年11月12日)	3,500		50	5.3	0.7	96.3	4,216	
86期(2018年12月10日)	3,488		50	1.1	—	96.2	4,184	
87期(2019年1月10日)	3,377		50	△ 1.7	—	95.1	4,072	
88期(2019年2月12日)	3,521		50	5.7	—	96.5	4,209	
89期(2019年3月11日)	3,440		50	△ 0.9	—	96.0	4,108	
90期(2019年4月10日)	3,445		50	1.6	—	95.7	4,102	
91期(2019年5月10日)	3,239		50	△ 4.5	—	95.0	3,851	
92期(2019年6月10日)	3,245		50	1.7	—	95.7	3,857	
93期(2019年7月10日)	3,344		50	4.6	—	96.6	3,915	
94期(2019年8月13日)	3,165		50	△ 3.9	—	95.1	3,651	
95期(2019年9月10日)	3,101		50	△ 0.4	—	95.1	3,586	
96期(2019年10月10日)	3,042		50	△ 0.3	—	95.4	3,465	
97期(2019年11月11日)	3,136		40	4.4	—	95.7	3,550	
98期(2019年12月10日)	3,106		40	0.3	—	96.2	3,477	
99期(2020年1月10日)	3,197		40	4.2	—	97.0	3,533	
100期(2020年2月10日)	3,041		40	△ 3.6	—	95.7	3,331	
101期(2020年3月10日)	2,630		40	△12.2	—	94.7	2,832	
102期(2020年4月10日)	2,282		40	△11.7	—	95.0	2,420	
103期(2020年5月11日)	2,161		40	△ 3.5	—	93.8	2,298	
104期(2020年6月10日)	2,491		30	16.7	—	94.6	2,669	
105期(2020年7月10日)	2,410		30	△ 2.0	—	94.9	2,534	
106期(2020年8月11日)	2,307		30	△ 3.0	—	94.5	2,404	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーパルマザーフンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率		
第101期	(期 首) 2020年 2月10日	円		%	%	%
	2 月末	3,041	—	—	—	95.7
	(期 末) 2020年 3月10日	2,982	△ 1.9	—	—	96.4
第102期	(期 首) 2020年 3月10日	2,670	△12.2	—	—	94.7
	3 月末	2,630	—	—	—	94.7
	(期 末) 2020年 4月10日	2,265	△13.9	—	—	95.6
第103期	(期 首) 2020年 4月10日	2,322	△11.7	—	—	95.0
	4 月末	2,282	—	—	—	95.0
	(期 末) 2020年 5月11日	2,247	△ 1.5	—	—	94.7
第104期	(期 首) 2020年 5月11日	2,201	△ 3.5	—	—	93.8
	5 月末	2,161	—	—	—	93.8
	(期 末) 2020年 6月10日	2,368	9.6	—	—	95.3
第105期	(期 首) 2020年 6月10日	2,521	16.7	—	—	94.6
	6 月末	2,491	—	—	—	94.6
	(期 末) 2020年 7月10日	2,394	△ 3.9	—	—	95.7
第106期	(期 首) 2020年 7月10日	2,440	△ 2.0	—	—	94.9
	7 月末	2,410	—	—	—	94.9
	(期 末) 2020年 8月11日	2,390	△ 0.8	—	—	95.4
		2,337	△ 3.0	—	—	94.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

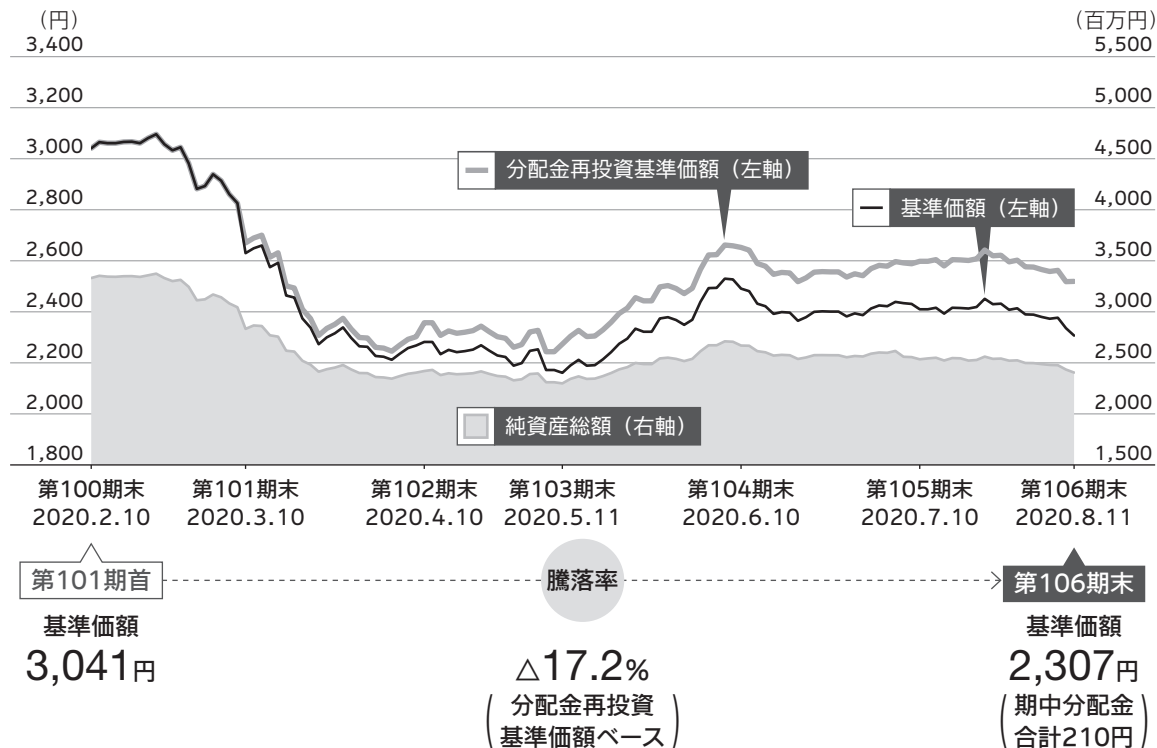
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年2月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」は、両ファンドを合算すると債券部分が小幅プラスに寄与した一方、為替部分等がマイナスに寄与した結果、分配金再投資基準価額の騰落率はマイナスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンド及びマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は小幅上昇しました。

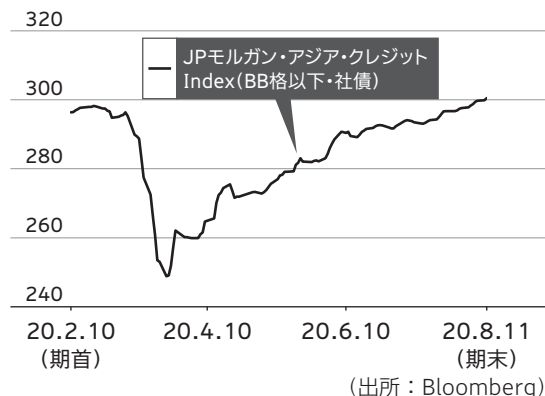
2020年3月以降、新型コロナウイルス感染問題が深刻化したことを受けて、感染抑止策等が導入された影響から景気見通しは大幅に悪化しました。リスク回避的な市場環境となったことから、米国金利は低下したものの、アジア・ハイ・イールド債券市場ではクレジットスプレッドが大幅に拡大した結果、下落しました。

4月以降は、徐々に経済活動が再開されたことや、多くの国で財政および金融の両面から政策対応が実施されたことを好感し、クレジットスプレッドが縮小したことから上昇しました。

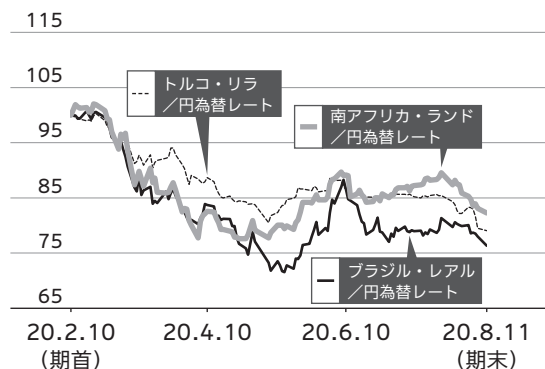
当期の為替市場は、景気が大幅に悪化したことなどを受けて、FRB（米連邦準備理事会）が利下げに加えて量的金融緩和政策を実施したことから、円高ドル安となりました。

高金利通貨については、2020年3月以降、世界的にリスク回避的な市場環境になる中、新型コロナウイルス感染問題が重石となった南アフリカランド、ブラジルレアルは対円で下落しました。また、トルコリラは外貨準備残の減少が懸念されたことなどから対円で下落しました。

市況の推移



為替レートの推移



出所：（ブラジルレアル・トルコリラ）投資信託協会
（南アフリカランド）Bloomberg

注1．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2．為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券のクレジットスプレッドが拡大した一方、クーポン収入や銘柄選択がプラスに寄与したことなどから、債券部分はプラスに寄与しました。

南アフリカランド、トルコリラ、ブラジルリアルが対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

クーポン収入等がプラスに寄与した一方、アジア・ハイ・イールド債券のクレジットスプレッドが拡大したことや、銘柄選択がマイナスに寄与したことなどから、債券部分は小幅マイナスに寄与しました。

南アフリカランド、トルコリラ、ブラジルリアルが対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、1万口当たり合計210円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2020.2.11 } 2020.3.10	2020.3.11 } 2020.4.10	2020.4.11 } 2020.5.11	2020.5.12 } 2020.6.10	2020.6.11 } 2020.7.10	2020.7.11 } 2020.8.11
当期分配金	40	40	40	30	30	30
(対基準価額比率)	1.498%	1.723%	1.817%	1.190%	1.230%	1.284%
当期の収益	40	40	40	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,510	6,523	6,536	6,561	6,585	6,610

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

金融・財政の両面からの強力な政策対応が実施されていることが景気回復のサポートになると考えますが、新型コロナウイルスの感染は引き続き拡大していることなどから景気回復は緩やかなペースにとどまるとみています。中長期的には景気回復に歩調を合わせて、市場環境も徐々に改善すると見込んでいます。当ファンドでは、市場動向を注視しながら引き続きクレジットの質を重視するとともに、当面先行きの不透明な市場環境が続く見込みであることを考慮し、価格変動性が高い銘柄等の組み入れを抑制するなど、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券市場については、世界的に緩和的な金融政策が維持されていることなどを背景に堅調に推移していますが、米国で新型コロナウイルス感染拡大や米中間の関係悪化懸念には引き続き留意が必要であると考えます。当面は慎重なポートフォリオ運営を行います。中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を見込んでいます。ポートフォリオ構築においては、引き続き企業の健全性を注視しつつ、流動性に配慮しリスクを抑えたポートフォリオ構築を行う方針です。

マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第101期～第106期 2020.2.11～2020.8.11		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	12円	0.506%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は2,441円です。
(投信会社)	(5)	(0.209)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(7)	(0.280)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.010	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	12	0.516	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

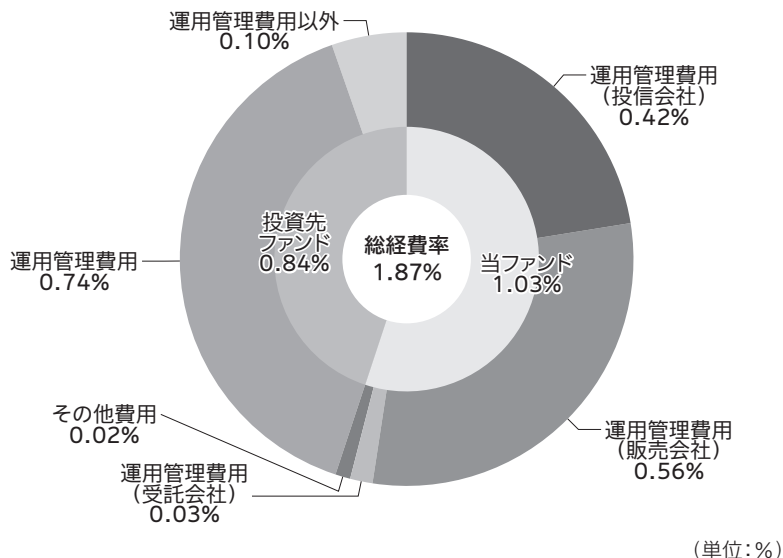
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.87%**です。



総経費率(①+②+③)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年2月11日～2020年8月11日)

投資信託証券

銘柄		第101期～第106期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	口 —	千円 —	口 675,177	千円 86,000
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 3 (HYC)	544,730	75,000	—	—
合計		544,730	75,000	675,177	86,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未满是切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第101期～第106期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネーブルマザーファンド		千口 —	千円 —	千口 12,974	千円 13,000

(注) 単位未满是切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月11日～2020年8月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月11日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第100期末	第106期末		
		口数	口数	評価額	比率
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III		口 14,737,849	口 14,062,671	千円 1,499,755	% 62.4
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 3 (HYC)		5,087,722	5,632,452	772,327	32.1
合計		19,825,571	19,695,123	2,272,083	94.5

(注) 単位未满是切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第100期末	第106期末	
		口数	口数	評価額
マネーブルマザーファンド		千口 38,572	千口 25,598	千円 25,647

(注1) 単位未满是切捨て。

(注2) 当ファンドは、第106期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年8月11日現在)

項 目	第106期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,272,083	92.9
マネー・プールマザーファンド	25,647	1.0
コール・ローン等、その他	148,022	6.1
投資信託財産総額	2,445,752	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2020年3月10日現在	2020年4月10日現在	2020年5月11日現在	2020年6月10日現在	2020年7月10日現在	2020年8月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,885,927,824	2,465,021,120	2,344,437,254	2,704,780,752	2,620,618,267	2,445,752,656
コール・ローン等	165,173,861	127,591,171	150,143,235	141,826,246	148,698,473	148,021,829
投資信託受益証券(評価額)	2,682,088,428	2,298,768,272	2,155,636,199	2,524,300,543	2,405,269,689	2,272,083,282
マネー・プールマザーファンド(評価額)	38,665,535	38,661,677	38,657,820	38,653,963	25,650,105	25,647,545
未収入金	—	—	—	—	41,000,000	—
(B) 負債	52,993,408	44,984,885	45,595,359	35,168,678	85,739,821	40,814,200
未払収益分配金	43,094,499	42,411,049	42,551,144	32,146,071	31,548,451	31,268,237
未払解約金	7,227,579	353,412	955,698	902,149	51,999,999	7,270,221
未払信託報酬	2,621,473	2,172,200	2,044,079	2,079,939	2,149,869	2,233,692
未払利息	493	—	431	365	317	300
その他未払費用	49,364	48,224	44,007	40,154	41,185	41,750
(C) 純資産総額(A-B)	2,832,934,416	2,420,036,235	2,298,841,895	2,669,612,074	2,534,878,446	2,404,938,456
元本	10,773,624,916	10,602,762,395	10,637,786,186	10,715,357,074	10,516,150,539	10,422,745,964
次期繰越損益金	△ 7,940,690,500	△ 8,182,726,160	△ 8,338,944,291	△ 8,045,745,000	△ 7,981,272,093	△ 8,017,807,508
(D) 受益権総口数	10,773,624,916口	10,602,762,395口	10,637,786,186口	10,715,357,074口	10,516,150,539口	10,422,745,964口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,630円	2,282円	2,161円	2,491円	2,410円	2,307円

(注1) 当作成期間(第101期~106期)における期首元本額10,955,910,722円、期中追加設定元本額384,653,599円、期中一部解約元本額917,818,357円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第101期0.2630円、第102期0.2282円、第103期0.2161円、第104期0.2491円、第105期0.2410円、第106期0.2307円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第101期7,940,690,500円、第102期8,182,726,160円、第103期8,338,944,291円、第104期8,045,745,000円、第105期7,981,272,093円、第106期8,017,807,508円

○損益の状況

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	63,597,679	58,528,724	58,532,968	59,427,471	59,014,296	59,073,768
受取配当金	63,603,838	58,530,071	58,538,465	59,434,092	59,020,576	59,081,670
支払利息	△ 6,159	△ 1,347	△ 5,497	△ 6,621	△ 6,280	△ 7,902
(B) 有価証券売買損益	△ 460,951,814	△ 381,769,229	△ 143,072,279	328,374,216	△ 110,348,137	△ 133,118,839
売買益	957,207	1,657,498	62,135	328,663,948	2,683,969	120,361
売買損	△ 461,909,021	△ 383,426,727	△ 143,134,414	△ 289,732	△ 113,032,106	△ 133,239,200
(C) 信託報酬等	△ 2,670,837	△ 2,220,059	△ 2,086,280	△ 2,119,818	△ 2,190,050	△ 2,275,442
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 400,024,972	△ 325,460,564	△ 86,625,591	385,681,869	△ 53,523,891	△ 76,320,513
(E) 前期繰越損益金	△ 4,326,748,843	△ 4,669,573,516	△ 5,026,737,537	△ 5,149,335,957	△ 4,679,711,681	△ 4,691,785,105
(F) 追加信託差損益金	△ 3,170,822,186	△ 3,145,281,031	△ 3,183,030,019	△ 3,249,944,841	△ 3,216,488,070	△ 3,218,433,653
(配当等相当額)	(5,934,095,534)	(5,845,560,632)	(5,870,674,416)	(5,922,768,025)	(5,818,831,716)	(5,774,231,239)
(売買損益相当額)	(△ 9,104,917,720)	(△ 8,990,841,663)	(△ 9,053,704,435)	(△ 9,172,712,866)	(△ 9,035,319,786)	(△ 8,992,664,892)
(G) 計(D+E+F)	△ 7,897,596,001	△ 8,140,315,111	△ 8,296,393,147	△ 8,013,598,929	△ 7,949,723,642	△ 7,986,539,271
(H) 収益分配金	△ 43,094,499	△ 42,411,049	△ 42,551,144	△ 32,146,071	△ 31,548,451	△ 31,268,237
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,940,690,500	△ 8,182,726,160	△ 8,338,944,291	△ 8,045,745,000	△ 7,981,272,093	△ 8,017,807,508
追加信託差損益金	△ 3,170,822,186	△ 3,145,281,031	△ 3,183,030,019	△ 3,249,944,841	△ 3,216,488,070	△ 3,218,433,653
(配当等相当額)	(5,934,095,528)	(5,845,560,631)	(5,870,674,412)	(5,922,768,010)	(5,818,831,708)	(5,774,231,232)
(売買損益相当額)	(△ 9,104,917,714)	(△ 8,990,841,662)	(△ 9,053,704,431)	(△ 9,172,712,851)	(△ 9,035,319,778)	(△ 8,992,664,885)
分配準備積立金	1,079,744,639	1,071,154,047	1,082,789,855	1,108,371,728	1,107,029,373	1,115,735,682
繰越損益金	△ 5,849,612,953	△ 6,108,599,176	△ 6,238,704,127	△ 5,904,171,887	△ 5,871,813,396	△ 5,915,109,537

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2020年2月11日～2020年8月11日)は以下の通りです。

項 目	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
a. 配当等収益(費用控除後)	60,924,471円	56,308,092円	56,444,625円	59,099,913円	56,821,715円	56,796,571円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	5,934,095,528円	5,845,560,631円	5,870,674,412円	5,922,768,010円	5,818,831,708円	5,774,231,232円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	1,061,914,667円	1,057,257,004円	1,068,896,374円	1,081,417,886円	1,081,756,109円	1,090,207,348円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,056,934,666円	6,959,125,727円	6,996,015,411円	7,063,285,809円	6,957,409,532円	6,921,235,151円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,550円	6,563円	6,576円	6,591円	6,615円	6,640円
g. 分配金	43,094,499円	42,411,049円	42,551,144円	32,146,071円	31,548,451円	31,268,237円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	30円	30円	30円

○分配金のお知らせ

	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
1万円当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	30円	30円	30円

<分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

○お知らせ

- ・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました（2020年4月1日）。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス3)</p>			
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)			
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。</p> <table border="1" data-bbox="399 374 1259 409"> <tr> <td>高金利通貨</td> <td>クラス3</td> </tr> </table>		高金利通貨	クラス3
高金利通貨	クラス3			
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。</p>			
決算日	毎年12月31日			
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>			
申込・解約手数料	ありません。			
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド			

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2019年1月1日から2019年12月31日まで)
アメリカドル

収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	19,050,480
為替差損益	20,626
その他収益	-
収益合計	19,071,106

費用

支払利息	△ 14,978
投資運用報酬	△ 1,183,264
投資運用報酬 払戻料	67,295
管理報酬	△ 69,155
監査報酬	△ 44,316
保管報酬	△ 47,033
受託者報酬	△ 15,705
その他営業費用	△ 62,000
営業費用合計	△ 1,369,156

税引前・分配前利益 (損失)	17,701,950
税金	-
税引後・分配前利益 (損失)	17,701,950
分配金	△ 25,888,696
税引後・分配後利益 (損失)	△ 8,186,746
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△ 8,186,746

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2019年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
ZHENRO PROPERTIES GRP 10.5% 28/06/20 USD	中国	10.500%	2020/06/28	3.7%
POWERLONG REAL ESTAT 5.95% 19/07/20 USD	中国	5.950%	2020/07/19	3.4%
JINKE PROPERTIES GRP 8.375% 20/06/21 USD	中国	8.375%	2021/06/20	2.8%
XINHU ZHONGBAO 6% 01/03/20 USD	中国	6.000%	2020/03/01	2.8%
RONSHINE CHINA 11.25% 22/08/21 USD	中国	11.250%	2021/08/22	2.6%
YANGO JUSTICE INTL 9.5% 03/04/21 USD	中国	9.500%	2021/04/03	2.5%
POWERLONG REAL ESTATE 6.95% 17/04/21 USD	中国	6.950%	2021/04/17	2.4%
SMC GBL POWER HLDGS 6.5% VAR PERP USD	フィリピン	6.500%	永久債	2.3%
ZHONGLIANG HLDGS 11.5% 26/09/21 USD	中国	11.500%	2021/09/26	2.3%
REDCO PROPERTIES GRP 13.5% 21/01/20 USD	中国	13.500%	2020/01/21	2.2%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジ ア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス3)	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。	
	高金利通貨	クラス3
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2019年1月1日から2019年12月31日まで)
アメリカドル

収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益/損失 (△)	5,176,535
為替差損	△ 20,022
受取利息	78,194
その他収益	4,300
収益合計	5,239,007

費用

投資運用報酬	300,500
管理報酬	18,334
監査報酬	32,924
保管報酬	9,021
名義書換費用	3,839
受託者報酬	12,058
その他営業費用	13,489
営業費用合計	390,165

営業利益 4,848,842

分配金 △7,956,816

税引前・分配後損失 △3,107,974

税金 -

税引後・分配後損失 △3,107,974

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少 △3,107,974

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2019年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
POWERLONG REAL ESTATE 5.95% DUE 19/07/2020	中国	5.950%	2020/7/19	5.0%
CFLD CAYMAN INVESTMENT 6.5% DUE 21/12/2020	中国	6.500%	2020/12/21	4.7%
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	4.2%
VEDANTA RESOURCES LTD 6.37% DUE 30/07/2022	インド	6.370%	2022/7/30	4.0%
PB INTERNATIONAL BV 7.62% DUE 26/01/2022	インドネシア	7.620%	2022/1/26	3.4%
YUZHOU PROPERTIES CO LTD 8.5% DUE 04/02/2023	中国	8.500%	2023/2/4	2.7%
MEDCO PLATINUM ROAD PTE 6.75% DUE 30/01/2025	インドネシア	6.750%	2025/1/30	2.6%
INDORAMA VENTURES GLO SV 4.37% DUE 12/09/2024	タイ	4.370%	2024/9/12	2.5%
CIFI HOLDINGS GROUP 5.37% DUE 31/12/2199	中国	5.370%	永久債	2.4%
FORTUNE STAR BVI LTD 6.75% DUE 02/07/2023	中国	6.750%	2023/7/2	2.1%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2020年8月11日）

＜計算期間 2019年8月14日～2020年8月11日＞

マネープールマザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
5期(2016年8月10日)	円 10,027		% 0.0	% 84.1	百万円 1,549
6期(2017年8月10日)	10,030		0.0	85.2	1,412
7期(2018年8月10日)	10,032		0.0	75.1	1,339
8期(2019年8月13日)	10,028		△0.0	—	248
9期(2020年8月11日)	10,019		△0.1	—	182

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率
				騰 落	率			
	(期 首)		円		%			%
	2019年	8月13日	10,028		—			—
	8月末		10,028		0.0			—
	9月末		10,027		△0.0			—
	10月末		10,026		△0.0			—
	11月末		10,026		△0.0			—
	12月末		10,025		△0.0			—
	2020年	1月末	10,024		△0.0			—
	2月末		10,024		△0.0			—
	3月末		10,023		△0.0			—
	4月末		10,022		△0.1			—
	5月末		10,021		△0.1			—
	6月末		10,020		△0.1			—
	7月末		10,020		△0.1			—
	(期 末)							
	2020年	8月11日	10,019		△0.1			—

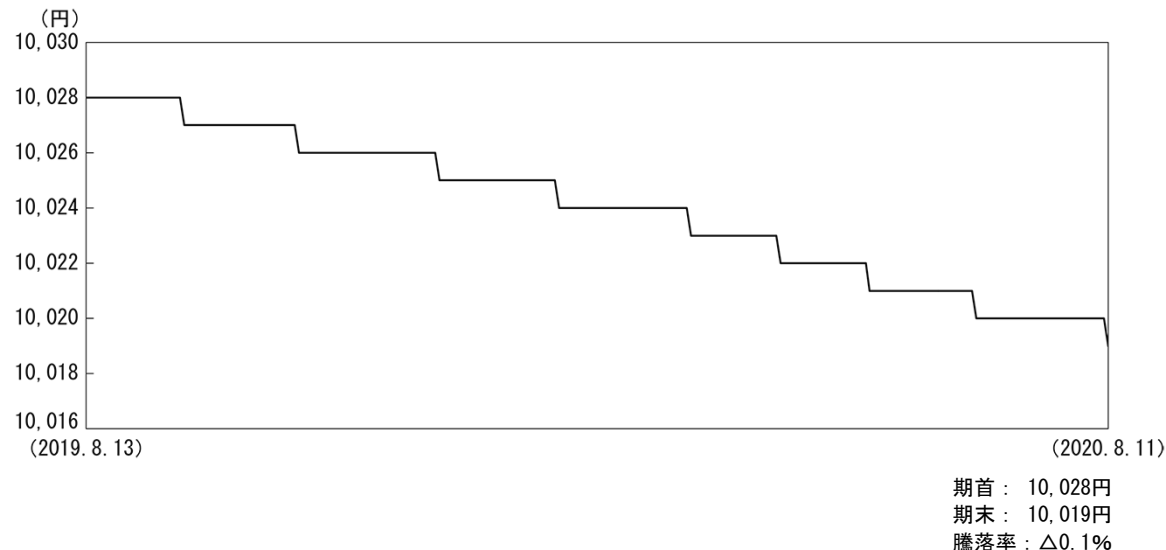
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2019年8月14日～2020年8月11日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

■投資環境

日銀によるマイナス金利政策のもと、短期金融資産の利回りは期を通じてマイナス圏内で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年8月14日～2020年8月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.014 (0.014)	(a)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	1	0.014	
期中の平均基準価額は10,023円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年8月14日～2020年8月11日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月14日～2020年8月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月11日現在)

2020年8月11日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年8月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 182,365	% 100.0
投資信託財産総額	182,365	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	182,365,662
コール・ローン等	182,365,662
(B) 負債	369
未払利息	369
(C) 純資産総額(A-B)	182,365,293
元本	182,010,733
次期繰越損益金	354,560
(D) 受益権総口数	182,010,733口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円

(注1) 信託財産に係る期首元本額247,715,866円、期中追加設定元本額3,551,988円、期中一部解約元本額69,257,121円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	81,000,688円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	25,598,908円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルリアルコース	45,266,118円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース	3,244,277円
アジア・ハイイールド債券ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなしコース	4,053,277円
アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型)円ヘッジコース	8,277,821円
日米4資産スマートバランス	8,222,410円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	1,859,448円
日米4資産スマートバランス(DC年金)	4,487,786円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0019円

○損益の状況 (2019年8月14日～2020年8月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△160,939
受取利息	54
支払利息	△160,993
(B) 保管費用等	△30,655
(C) 当期損益金(A+B)	△191,594
(D) 前期繰越損益金	701,021
(E) 追加信託差損益金	8,012
(F) 解約差損益金	△162,879
(G) 計(C+D+E+F)	354,560
次期繰越損益金(G)	354,560

(注1) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました(2020年4月1日)。